



久学審第9号
令和4年3月11日

久喜市教育委員会
教育長 柿沼 光夫 様

久喜市立小・中学校学区等審議会
会長 山本 千恵



久喜市立小・中学校の統廃合等の検討について（答申）

平成29年5月24日付け久教学第293号において諮問のあった標記の件について慎重に審議を行った結果、(3)久喜市立上内小学校の小規模化に伴う学校統廃合等の検討について、下記のとおり答申します。

記

久喜市立上内小学校では、小規模校の特性を生かした教育活動を実践していますが、児童数の減少に伴って、令和4年4月から同校を休校とし、同校の児童は久喜市立鷺宮小学校へ通学する方針が、久喜市教育委員会令和3年4月定例会において可決されております。

こうした中、子どもたちの将来を見据えますと、より多くの子どもたちと触れ合うことを通して、多様な人間関係を築き、切磋琢磨しながら成長できる教育環境が望ましく、教職員の配置という観点からも、多くの教員から指導を受ける機会が確保できるよう、学校統廃合を実施することが適当であると考えます。

また、統廃合にあたっては、関係する学区が小中一貫教育を推進するための恵まれた環境にあることを鑑みて、義務教育学校を新設することが適当であると考えます。

つきましては、久喜市立上内小学校は、久喜市立鷺宮小学校及び久喜市立鷺宮西中学校と統合し、令和7年(2025年)4月に、統合による新たな義務教育学校を現在の久喜市立鷺宮西中学校の位置に開校することが望ましいと考えます。

附帯意見

学校統廃合の実施にあたっては、関係学校の保護者や地域住民の意見に十分配慮しながら、多様な教育活動の実践や学校施設の整備等により、子どもたちの教育環境の充実を図るとともに、通学時の安全性を確保するよう要望します。

また、廃止後の学校施設及び跡地の活用については、地域の実情を考慮しつつ、久喜市として全庁的に連携を図りながら、速やかに具体的な検討を進めるよう要望します。